

第 19 期第 1 回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日時：2012 年 12 月 16 日(日) 14:30-

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻第 1 会議室

議長：小田滋晃

出席者：(全体) 佐藤豊信、古塚秀夫、増田佳昭、小田滋晃、浦出俊和、堀田学、仙田徹志、中塚雅也、桂明宏、北川太一、藤本高志、矢倉研二郎、北野慎一、増田清敬、竹歳一紀、伊庭治彦、池上甲一、金子治平、糸魚川共子(中西印刷)、(前半のみ) 加賀爪優、横溝功

- 1) 佐藤新会長より挨拶がなされた。
- 2) 加賀爪旧会長挨拶より挨拶がなされた。

【議題および報告】

(1) 議事録について

前回常任理事会、2012 年度大会実行委員会、総会、理事会議事録が承認された。

(2) 2012 年度大会決算報告について

浦出前期会計担当理事より、2012 年度大会決算報告について報告がなされ承認された。

(3) 2012 年大会報告

増田副会長より第 62 回大会の報告がなされた

(4) 各担当の引き継ぎについて

1) 企画(増田副会長)

増田副会長より、企画関連の改革について説明がなされた。具体的には、①大会個別報告関連(大会前原稿、プレゼンファイル)のフォームメーラを利用した受付+報告者が大会前原稿の座長へ送付(2012 年度は 2 件提出ミスが存在したが提出を容認した。2013 年度以降は認めない)、②大会講演資料の印刷費の事後請求、等の説明がなされた。

2) 庶務(浦出庶務担当理事)

浦出庶務担当理事より、①中西印刷への業務委託内容(会員データの管理等)についての見直し、②終身会員制度の検討、③徳島県選出理事の確保、④各理事会の出欠確認方法の見直し、⑤大会個別報告座長の割り振りの見直し、等の必要性について説明がなされた。

3) 編集(矢倉編集担当理事)

矢倉編集担当理事より、①J-stage への対応と費用負担方法についての検討の必要性、②大会関連について企画との連携及び役割分担の明確化の必要性、について説明がなされた。

4) 組織・広報(中塚組織・広報担当理事)

中塚組織・広報担当理事より、①会員減少への対策(シニア会員制度の見直し)、②会員種別の再整理、③HP の管理ルールの見直し、④2 名体制の見直し、等の必要性について説明がなされた。

5) 会計(仙田会計担当理事)

仙田会計担当理事より、会計上の課題として、①J-stage への対応をにらんだ会費・掲載費の再検討、②繰越金・基金の有効活用、について説明がなされた。

(旧理事退席)

(5) 増田副会長挨拶

(6) 各担当からの挨拶(新体制は以下の通り)

会長	佐藤豊信
副会長	古塚秀夫 (学会賞、広報、企画を統括) 増田佳昭 (業務改革・組織を統轄)
庶務	○小田滋晃、浦出俊和、北野慎一
編集	○金子治平、竹歳一紀、藤本高志、矢倉研二郎、増田清敬
企画	○池上甲一、伊庭治彦、北川太一、内山智裕
組織・広報	○桂明宏、中塚雅也
会計	○仙田徹志、堀田学
監事	○河村律子、多田稔

(7) スケジュールについて

第19期のスケジュール(配付資料)の確認を行った。

常任理事会 第2回:2月23日、第3回:4月27日、第4回:9月28日

(8) 各担当から今後の課題への対応について

1) 組織・広報(桂組織・広報担当理事)

①新規入会(1名)、退会者報告(1名)の報告がなされた。

②シニア会員、終身会員については庶務とすりあわせを行った上で、次回以降常任理事会にて諮ることとした。

③次期に向けて理事定数の見直しを行う旨説明がなされた(小田庶務担当理事)。

- ・地域選出理事の選出基準の見直し(データの洗い出し)
- ・会長指名理事の拡充→規程の見直しの可能性有

2) 企画(池上企画担当理事)

編集と企画(及び事務局)との役割分担の明確化に取り組む旨説明がなされた。

3) 会計(仙田会計担当理事)

繰越金及び基金の活用については今後検討することが確認された。

4) 編集(金子編集担当理事)

①学会誌発行及び論文審査状況について説明がなされた(配布資料の通り)。

②J-stageについて

J-stageを継続するか否かに(予算措置)について決定いただきたい旨説明がなされ、継続について承認された。経費節減については今後検討することが確認された。併せて、論文投稿のテンプレート(投稿要領)の作成について中西印刷を交えて検討し、第3回常任理事会にて承認を得たい旨説明がなされた。また、本件については、関連する各担当の協力依頼がなされた。

5) 庶務(浦出席務担当理事)

各担当の改革についてサポートを行う旨の説明があった。

(9) 2013 年度大会に向けて (池上企画担当理事)

1) 2013 年度大会について以下の内容を検討中である旨の説明がなされた。

- ①セッション方式は引き続き行う。
- ②3 年目なのでセッション方式に対する参加者の評価(アンケート)を行う。
- ③地域シンポは実施する。
- ④個別報告の改革(会場が多い→オーディエンスが少ない→2 日間に分ける)を行う。
→理由：シンポやセッションと個別報告の参加者の属性が異なる→均質化を行う
- ⑤個別報告優秀賞の発表を総会または懇親会等で行う。
- ⑥ポスターセッションは開催しない(開催校の負担を考慮)。
- ⑦(提案：佐藤会長)企画セッションの 1 つは募集型にする。

(10) その他

- 1) 浦出庶務担当理事より、引き継ぎ業務マニュアルの提出について依頼がなされた。
- 2) 金子編集担当理事より、J-stage の費用負担について、既論文投稿者については学会負担となることの説明がなされた。また、J-stage の利用(データのアップ)方法については、今後費用を勘案し検討する旨の説明がなされた。
- 3) 浦出庶務担当理事より、新名簿システムの導入について提案がなされた。本件については、各担当で必要性を検討し、次回以降継続審議することとした。
- 4) 増田副会長より、理事とのコミュニケーションを促進するため、理事メーリングリストの作成して欲しい旨依頼があり、組織・広報担当で検討することが確認された。
- 5) 佐藤会長より、農林業問題研究の昭和堂印刷引き取り分の変更(昭和堂の提案 130 部→110 部)についての説明がなされ、受け入れる方向(2013 年 6 月より)で対応することが確認された。
- 6) 浦出庶務担当理事より、会員名簿の定期(掲載項目)見直しについて説明がなされた。今回は特に、項目内容の見直しはせず、前回と同じ形式での発行することが確認された。さらに、3) に関連して、名簿の WEB 公開について提案がなされ、第 2・3 回常任理事会で引き続き検討を行うこととした。なお、結論が出るまでは名簿発行を保留することとした。

最後に、古塚副会長より挨拶があり閉会した。

以上